



市立小樽図書館

〒047-0024 小樽市花園 5-1-1

TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>

休館日■黒い枠

3月 図書館カレンダー							2月15日現在
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20 <small>祝日開館</small>	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

行事などの最新情報はこちらをチェック!

小樽図書館

検索



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

◇開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで

土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで

◇休館日

3月 月曜日 2日・9日・16日・23日・30日
館内整理休館日 27日(金)
※祝日(3/20春分の日は開館いたします)

4月 月曜日 6日・13日・20日・27日
館内整理休館日 24日(金)
※祝日(4/29昭和の日)は開館いたします)

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29 <small>祝日開館</small>	30		

予約ベスト5

() の人数はR 8. 2. 1 3現在の予約人数です。

- ◎失われた貌 (櫻田 智也) (60人)
- ◎暁星 (湊 かなえ) (55人)
- ◎成瀬は都を駆け抜ける (宮島 未奈) (52人)
- ◎マスカレード・ライフ (東野 圭吾) (44人)
- ◎さよならジャバウォック (伊坂 幸太郎) (44人)

今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。



645. 9 「マーモットのまもち」

ドクターマーモット 著

SNSで大人気！動物界のぬいぐるみこと、マーモットの魅力がぎゅっと詰まった写真集。愛くるしいのに、仕草がおじさんぽい、ヒマラヤマーモットのまもちをはじめ、マーモット村（マーモット専門アニマルカフェ）の仲間たちのゆるくてかわいい日常が約100点の写真とともに紹介されています。皆さんもぜひ手に取って、推しマーモットを見つけてください。

(H・N)



「そろそろ・・・」の巻

ハート職人、今夜も夜なべ？

修行レベルの雪かきともそろそろ卒業したい。今冬は本当にドカ雪地獄を味わった。「豪雪地帯に比べたらたいしたこと、ないっしょやあ」と言われてしまうところだがとても辛かった。豪雪地帯の冬の日常を動画で見してみた。冬は2階の玄関から出入りするという。建物の構造がよくわからないが1階が雪に埋められるということらしい。就寝前にしっかり除雪しても朝には50センチ以上の雪だとか。これがほぼ毎日だと。慣れた手つきでサクサクと淡々と除雪していく様子はとても軽々としていた。それは倍速での映像だからだろうか。きれいな除雪方法だ。まさに職人レベルだ。楽々と除雪しているように見える。しかし屋根に上って雪を落とす作業の映像では、携帯したカメラで撮影したリアルな様子もあった。それはかなりの迫力だ。その地域ではタイミングがあえば落とした雪を除雪車が排雪してくれるらしい。そんな動画を見ると確かに、小樽は毎日ではなかったし屋根に上るほどの豪雪でもなかった。それでも膝まで埋まることがちょくちょくあった。秋の終わり頃、たまたま店頭で割引になっていた長靴を珍しく購入。その長靴の出番が今冬は多かった。そして今朝も長靴レベルの大雪。昨夜のうちに少し雪かきしておいて正解だった。昨夜の自分をほめてあげたい。度重なる大雪は歳を重ね過ぎた身には辛い。ガソリンを使う大型の除雪機はやっぱり怖い。金額も高い。運転しない身としてはガソリンを購入すること自体がままならない。そこにきて小耳に挟んだ有力情報。小型の充電タイプがあるという。検索してみると確かにあった。動画を見る限り小型とは言え雪を飛ばす力がある。次の冬は機械に頼りたい。だがしかしやっぱり金額次第。

小説類



「八州の風手控え帳」あさの あつこ 著
「八州廻り」と呼ばれる関東取締出役の任に就く一柳直四郎。争いごとを嫌い、甘い饅頭を愛する若き役人の一番の楽しみは、村々を歩き、日記をつけること。だが、林で首吊り死体が見つかる。

「私的応答」 井戸川 射子 著
自然を許すとはどういうことか。されたことは消えないし、許していかないと自分の心に害が及ぶ。昭和から令和、母娘三代に流れる「時間」と震災の「記憶」の物語。

「あしたの肖像」 岩井 圭也 著
美大生の小滝は、学内の事故で亡くなった彫刻科の穂香の肖像画を描くことに。穂香を知るため関係者に話を聞くが、その頃、小滝の同級生で恋人のひなたが行方不明になり…。

「うちの共有不動産揉めてます！」

桂 望実 著
クセ者の母親が遺した不動産を、共有不動産として相続することになった4人のきょうだい。土地の売却価格をめぐる対立するうちに、それぞれの抱える行き詰まりまでもが明らかとなり…！？

「灰は灰」 香納 諒一 著
定年退職を待たずに警察を辞め、新宿界隈で探偵稼業に勤む鬼束。あるヤクザの馴染みの女性の不審な死、バーで出会った男の失踪とその行方…。街を歩けば厄介な依頼が舞い込み。



「被告人、AI」 中山 七里 著
最新AIを搭載した介護ロボットが、利用者を殺害した罪で起訴された。裁判を担当することになった東京地裁の判事補・高遠寺円は、被告人との面談に臨むが…。

「生きとるわ」 又吉 直樹 著
公認会計士として傍目には順調な生活を送っている岡田。しかし、高校時代の仲間だった横井に500万円を貸したことから、人生が狂い始める。阪神優勝の夜、姿をくらましていた横井と再会し…。



「花屋さんが夢見ることには」

山本 幸久 著
美大生のミドリは、駅前の花屋さんでアルバイトをしている。女子高校野球で全国優勝を目指す千尋。アイドルになれなかった響。今日もいろんな人がやってきて…。

「グレタ・ニンプ」 綿矢 りさ 著
俊貴は、控えめで笑顔が可愛い由依と結婚した。が、由依は長い不妊治療の末に妊娠すると突然、喜びのあまり外見・内面ともに豹変し…。

随筆



「旅は老母とともに」 伊藤 礼 著
自転車のこと、旅のこと、犬のこと、父母のこと…。小説家で評論家・伊藤整の二男でエッセイスト・英文学者である著者が、これまでに発表したエッセイの中から10篇を精選。

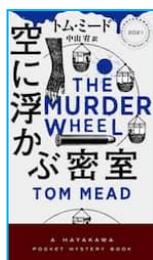
「ぜんぜんダメでパーフェクトなわたしたち」

山田 由梨 著
29歳でうつになり、30歳からは毎年冬季うつの若手脚本家によるエッセイ集。日常の中で気持ちいいことを増やし、嫌なことを減らし、自分を責めずに生きるコツを綴る。

その他

書名の前の数字は分類番号です。

929.1 「老後ひとり、暮らしています。」
イ・オクソン 著
76歳。そう、私は今、人生最高の時をすごしている。子供は立派に巣立ち、2年前には夫を亡くして寂しい老後…と思いきや、ひとりがこんなに気楽だなんて。将来への不安と焦りが消える痛快エッセイ。



933.7 「空に浮かぶ密室」

トム・ミード 著
1938年、ロンドンの観覧車のゴンドラで起きた密室殺人。捜査が難航するなか、第2、第3の密室殺人事件が！不可解な事件の捜査を依頼された元奇術師の私立探偵スペクターが辿り着いた、驚愕の真実とは…。

新着一般書

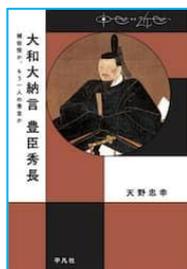


書名の前の数字は分類番号です。

159 「幸せにならなくたっていいんだよ」
ひすい こたろう 著
いい人でなければいけない、頑張らなければ認められない…。幸福度指数を下げているの「思い込み」を解消し、心を満たす方法を紹介する。

289. 1 「大和大納言豊臣秀長」
天野 忠幸 著

豊臣政権の壮大な方針を先駆けて実施した武将、豊臣秀長。刀狩・検地をいち早く自領で展開し、巧みな宗教政策や人材育成は後の江戸幕府の礎を築いた。信長、秀吉、家康が魅せられた豊臣秀長の実像と足跡を濃密に描く。



497. 7 「マンガでわかる0歳からの歯並び育児」
鈴木 設矢 著
反対咬合、叢生、出っ歯といった歯並びの悩みは、正しい食事と生活習慣で予防することができる。年齢別にチェックしておきたいポイントと、知っておきたい歯並びの知識、矯正歯科の選び方などをストーリーマンガで紹介する。

590 「仕事と人生を変える勝間家電」
勝間 和代 著

家電・ガジェットをはじめとしたテクノロジーを使い倒して自分の時間を取り戻そう！服は「サブスク」一択、入力はずべて「マイク(声)」、材の買い物は100%オンラインなど、使ってよかった最強ツールを公開する。



291. 3 「東京ホリデイ花さんぽ」
杉浦 さやか 著

“花”麗なるお屋敷、本郷のイチヨウ並木、蕎麦とアジサイ、ホテルのタペ…。花と緑をめぐる四季の東京171ヶ所を、イラストレーターが紹介する。花と緑を楽しむカフェも充実。祥伝社WEBマガジン連載を加筆し書籍化。

596. 3 「マルちゃん焼そば世界の旅レシピ50」
小松 友子 著



チャジャンミョン(韓国)、カチョエペペ(イタリア)、パッター(タイ)、ミーゴレン(インドネシア)…。世界と日本のいろいろな焼そば&麺料理を、「マルちゃん焼きそば」で作るレシピを紹介します。

291. 6 「ほんとうの京都」
かしわい ひさし 柏井 壽 著

京都の真実をまだ誰も知らない。京都で生まれ育って70年のカリスマ案内人が、京都という土地、そこに住まう人びとによって育まれてきた<ほんとうの京都>をじっくりと紹介する。

801. 1 「「かわいい」言語学」
くまがい がくじ 熊谷 学而 著
パピペポはザズゼゾよりも「かわいい」？そもそも「かわいい」って何？「かわいい」音ってどんな音？日本語でいちばん「かわいい」音は？言語学的に実験して見えてきた「かわいい」音の正体に迫る。



367. 7 「老いのレッスン」
内田 樹 著



少子化・人口減する日本、カオス化する世界、長寿化による生き方の変化…。思い通りにいかない人生と折り合いながら生きるための知恵と術をQ&A形式で紹介する。『だいわlog.』連載を改稿。

909 「作家とランチ」
日本児童文学者協会 編
2000年代以前から活動し、日本児童文学者協会の賞なども受賞した児童文学作家13人に、ランチをともしながら創作の舞台裏についてインタビュー。創作活動の“秘密”“秘訣”に迫る。『日本児童文学』連載を書籍化。

児童資料



「月虫の姫ぎみ」 五十嵐 大介 著
地球にうみおとされた、月虫のたまご。やがて幼虫はどんどん大きくなって美しい姫ぎみに成長し…。児童文学作家・富安陽子と漫画家・五十嵐大介が紡ぐ、妖しくも甘みな変身譚（メタモルフォーゼ）。

「ようかいあいうえお」 ささき みお 著
おばあちゃんの家泊りにきたようちゃん。目が覚めると、まわりはなんと、ようかいだらけ！？126のようかいとおはなしで、ひらがなを覚えられる楽しい絵本。

「マイ・ディア・フレンド」 小手鞠 るい 著
引越した直後に飼い猫が死んでしまい、寂しさを抱えていた少年。ある日、図書館で、「マイ・ディア・フレンド」という本に呼ばれた気がして…。少年が読書を通して友情を育みながら、悲しみを乗り越えていく物語。

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①3月7日 ②3月21日
③4月4日 ④4月18日

【場 所】 ①③図書館1階 児童室えほんコーナー
②図書館2階 視聴覚室
④図書館2階 視聴覚室ほか

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」
「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作。

協力：たるBOOKの皆さん

②「たるばとおたのしみ会！」

「たるばとクラブ」開始8年を記念したおはなし会や工作など。

④「見たい！知りたいたい！図書館のすごいうら側！」

図書館がテーマのおはなし会やクイズ、館内見学ツアーなど。



「乳幼児向けおはなし会 たるびよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

3月6日、13日、20日
4月3日、10日、17日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

「ぐうちよきぱぁのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきぱぁ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 3月11日(水)、4月8日(水)

午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要



郷土資料

書名の前の数字は分類番号です。



H489.5 「山でヒグマに遭わない・死なない観察力」

稗田(ひえだ) 一俊 著

北海道の森林深層部での豊富な踏査経験をもつ著者が、多数の写真を活用し、本来のヒグマの「素顔」と生態、そして地域のヒトとクマの日常に迫る。ヒグマ遭遇のリスクを下げるための一冊。

H748 「北の森の和毛(にこげ)たち」

佐藤 章 著

エゾモモンガ、シマリス、キタキツネ、エゾフクロウ…。もふもふとした柔らかい毛、和毛に包まれた野生動物たち。北海道の森に暮らす動物たちの心温まる可愛らしい瞬間を切り取った写真を収録する。

H914.6 「太陽の讃歌」

小檜山 博 著

最果ての北の地に生まれ育ち、極貧極寒のなか、人生を歩み続けた。絶望と挫折を繰り返し、くじけそうな心を支えてくれたのは人々の温もり。生きる希望が湧いてくるエッセイ。



行事予定

3月

おたる図書館シネマ座、ミュージックプロムナードは、機材の故障により当面の間、中止いたします。復旧まで今しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

展示

「気になる展」

【日 時】 3月3日(火)～3月10日(火)
【内 容】 小説、実用書問わず、
タイトルが気になる、
面白い本を展示・貸出し
【場 所】 図書館1階 カウンター前



「キャワキャワかわちい ～キャラクター編」

【日 時】 3月13日(金)～3月26日(木)
【内 容】 かわちい(かわいい)キャラクター
が出ている本、写真集、編みぐるみなど
の手芸に関する本を展示・貸出し
【場 所】 図書館1階 カウンター前



「勉強スルベヤー」

【日 時】 3月8日(日) 午前9時半～午後5時
【内 容】 中高生のための勉強場所
【場 所】 図書館2階 視聴覚室

「絵葉書でふりかえる小樽・北海道 ～小樽図書館デジタルライブラリー より～」

【日 時】 2月22日(日)～3月17日(火)
【内 容】 令和7年度に小樽図書館ホームペー
ジで新たに公開された「デジタルラ
イブラリー」の資料(絵葉書)、パネ
ルを展示
【場 所】 図書館1階 エントランス

催し

「絵葉書でふりかえる小樽・北海道 ～小樽図書館デジタルライブラリーより～」

【郷土史講演会】

【日 時】 3月15日(日) 午後2時～3時
【講 師】 渡辺 眞吾 氏(フリーライター)
【内 容】 小樽図書館ホームページ内のデジタ
ルライブラリーにアップした、当館
所蔵の絵葉書について解説。

【対 象】 高校生以上
【定 員】 30名(先着)
【場 所】 図書館2階 視聴覚室
【申込み】 3月3日(火) から図書館へ

第174回 芥川賞2作品 決定

第174回 直木賞 決定



ある家にまつわる不思議な
体験譚
「時の家」鳥山 まこと 著



歴史の叫びが重なる
恋愛政治小説
「叫び」畠山 丑雄 著



帰り道の会話から滲む微妙な距離感を
描く物語
「カフェーの帰り道」嶋津 輝 著